令和７年度　特別支援学校うぐいすの杜学園　校務分掌業務の実施状況

1　教務部

（1） 教務担当

①企画立案

〇教育課程

・年間行事予定、月行事予定、日課表の立案及び調整
　年間授業日数　１９９日
・学校教育計画の立案及び評価

〇主な行事等

実施日	行事名	備考
令和７年　４月　８日（火）	１学期始業式・新任式	新任　５名
令和７年　７月２２日（火）	１学期終業式	
令和７年　８月２９日（金）	２学期始業式	
令和７年１０月３１日（金）	第５回うぐいす祭	
令和７年１２月１７日（水）	音楽を楽しむ会	山梨県芸術文化協会「指導者派遣事業」 講師：鈴木逸明 氏
令和７年１２月２２日（月）	２学期終業式	
令和８年　１月　９日（金）	３学期始業式	
令和８年　３月１０日（火）	中学部第５回卒業証書授与式	中学部卒業生　３名
令和８年　３月１７日（火）	小学部第５回卒業証書授与式	小学部卒業生　３名
令和８年　３月２５日（水）	修了式・離退任式	離任　２名
○授業公開及び懇談 ・各学期１回（計３回）　子どものこころサポートプラザ内職員が参観 ・公開期間　　１、３学期 各２日間　　２学期 １日（学園祭） ・懇談　　子ども心理治療センター担当者、児童相談所ケースワーカー、保護者が参加 ※２学期は、担当連絡会とし、児童相談所ケースワーカー、子ども心理治療センター担当者、担任、学部主事が参加し、学校から学習状況等を伝える場とした。		

〇担当委員会

・教育課程委員会・・・次年度の教育課程編成について検討
・規程検討委員会・・・内容について見直し、改訂版を作成
・修学旅行委員会・・・今年度及び次年度修学旅行について検討
・学部主事会・・・・・各学部の状況についての共有や学部間の調整等

②庶務

〇学校要覧作成・・・２００部

〇成績・評価・・・成績及び修了認定会議（各学期末）

〇個別の教育支援計画・・・学部を中心に個々の支援について検討した。ケース会議等で、関係機関と支援について検討する際のツールとして活用した。

〇個別の指導計画・・・自立活動の個別の指導計画については、国立特別支援教育総合研究所病弱班から提案された「Co-MaMe」を活用した。

〇諸帳簿の管理

名　称	保存期間	名　称	保存期間
学校沿革史	永年	指導要録（学籍）	２０年

教務日誌	５年	指導要録（指導）	５年
日直日誌	５年	出席簿	５年
教職員名簿	５年	卒業生台帳	永年

○調査・統計・・・「学校基本調査」「特別支援学校在籍者に係る調査」「教育課程の実施状況調査」「授業実施状況に関する調査」　他

③実習等

○教育実習・介護等体験・・・令和７年度の受け入れは無し

（2）進路指導担当

①キャリア教育

・キャリア教育の充実～教科領域の学習において、キャリア教育計画をもとに指導を深める。

・キャリアパスポートの作成に取り組み、児童生徒が自分自身について考える機会としていく。

②進路指導

○高等学校等、進路先の情報収集

進路先として考えられる高等学校等について、オープンスクールへの参加や担当者との連絡等を通して、具体的な資料を収集してまとめる。

○甲府市中学校進路指導連絡協議会への参加

サマーテスト（８月）、校長会テスト（１０月、１月）

○進学先校との連携

・定期的に電話で様子を共有し、支援について連携を行った。

・進学先　中学部卒業生：県内私立高校

小学部卒業生：本校中学部、地域中学校

③中学部職場体験学習

○職場体験学習（５月）　２日間

ドーミーイン甲府での体験学習

○職場体験学習の受け入れ先等に関する情報収集

（3）図書担当

①図書

○教科書事務・・・令和７年度教科用図書受領確認　令和８年度教科用図書採択

転入学児童生徒用教科用図書採択　指導書購入及び管理　副教材の選定

○図書・・・・図書室蔵書　職員用図書の管理　寄贈図書の整理

○教科用図書校内検討委員会・・・令和８年度教科用図書について選定

○図書選定委員会・・・児童生徒用図書の選定

（4）研修・研究担当

①校内研究

○研究テーマ

柱１：長期の不登校を経験した子どもへの支援　※愛着理論に基づいた支援の視点をベースに

柱２：教職員のメンタルヘルスについて　～ストレスコーピング～

○研究仮説

「長期の不登校を経験した子どもの経緯や心理等を理解し、具体的支援の基本方策を教師間で共通認識することで、より適切な支援ができるのではないか？」

「具体的なストレスコーピングを知ることで、年間を通した教職員の精神的健康が保てるのではないか？」

〇研究内容・方法及び経過

（1）理論研究・研修

①文献による理論研究を通して専門的な捉え方や支援方法を学び、実践に活かす。

②本校主催の研修会や子どものこころサポートプラザ主催の学習会で学び合う。

③関係各機関が主催する研修会や学習会へ参加し、専門性を高める。

（2）実践研究

①小学部及び中学部のグループ研究において、各学部の校内支援体制の現状の工夫と課題、課題に対する対策について検討する。

②グループ研究により確認されたことを学校全体で共有する。各学部の特徴と工夫、必要な支援について、全教師で共通確認する。

〇実践研究・事例研究経過　　年間１３回

・全体研究　８回・・・本年度の研究の方向性、外部講師招聘研修会
　　本年度の研究のまとめ及び次年度の方向性

・学部研究　５回・・・事例研究（児童生徒のアセスメント、課題と支援の整理　等）

〇研修方法及び経過

・本校が主催する研修会や学習会を開催する。

・校外の関係各機関が主催する研修会や学習会へ参加し、情報を共有する。

・研修会やこれまでの校内研究から専門的な捉え方や支援方法を学び、実践に活かしていく。

＜本校主催＞

日　付	内　　容	講　　師	主催
４月１８日（金）	校内研修会 「子ども心理治療センターうぐいすの杜について」 「病弱の子どもの理解と支援～うぐいすの杜学園の教育～」	こども心理治療センターうぐいすの杜 所長　上村　拓治　氏 本校教諭　菊池　恵	本校
５月２０日（火）	校内研修会 「不登校について」	本校教頭　原　満登里	本校
６月１９日（木）	山梨県子どものこころサポートプラザ内研修会 「ニューロダイバーシティと神経発達」	子どものこころサポートプラザ センター長　相原　正男　氏	外部
７月１日（火）	校内研修会 「やってみようストレスコーピング」	本校教頭　原　満登里	本校
７月２８日（火）	校内研修会 「不登校の子どもの理解と支援」	日本体育大学体育学部 健康学科 教授　野井　真吾　氏	本校
８月２６日（火）	校内研修会 「脳科学からみた心の発達－前頭葉機能を科学する－」	子どものこころサポートプラザ センター長　相原　正男　氏	本校

②研究のまとめ

・研究のまとめについては、「令和７年度研究紀要」に掲載

（5）情報・ICT 教育担当

①情報・視聴覚機器の管理

〇情報視聴覚機器の保守管理及びネットワーク管理

〇学校ホームページによる情報発信

授業や行事の様子、学校としての取り組みについて情報発信を行う。

○情報教育

・一人１台端末（iPad）の管理及びシステム更新

・全国学力･学習状況調査実施及び山梨県学力把握調査に向けた準備

・ＩＣＴ教育推進研修会＜教員対象＞（11 月）：一人１実践報告（県教育委員会指導主事招聘事業）

②教材教具の管理

・教材備品等の確認用台帳の作成

・学期末の確認整理の計画及び実施

・毎月の物品購入のとりまとめ

（6）渉外交流担当

①交流及び共同学習

○地域清掃～学校周辺及び山梨県子どものこころサポートプラザ内の清掃活動

・プラザ内の草とり及び清掃活動　年間２回（６月、９月）

・花いっぱい運動（チューリップの球根植え）　年間１回（１２月）

○地域での交流

・甲府伊勢四郵便局への作品掲示　年間３回（７月、１１月、３月に各々更新）

・甲府伊勢四郵便局への手作りしおりの配布　年間１回（１月）

・甲府伊勢四郵便局及びホテル湯王温泉への花植えプランターの贈呈　年間１回（５月）

○地域だより　　年間３回発行（５月、１０月、１月）

地域自治会を通じて各戸（約 230 戸）に配布

2　安全指導部

（1）生徒指導担当

①生活指導・いじめ防止対策

○生活指導

・生徒指導上の課題への対応

・学校のやくそく（小学部）／学校生活のルール（中学部）の再検討及び指導

○緊急時の対応

・保護対策の確認

○いじめ防止対策

・いじめ防止基本方針の見直し

・いじめに関するアンケートの実施と対応策の検討（年３回実施）

②第５回うぐいす祭の実施　　１０月３１日（金）

○目的

日頃の学習活動を発表することで「自分がこの学校で学んでいる」という所属感を味わえる機会にする。そしてみんなの発表を肯定的に観ることでお互いを認め合い、連帯感を育むきっかけにする。

○内容

学習発表（模擬店形式　作品展示）

（2）保健・給食担当

①保健衛生

○学習環境の整備

・水質検査（毎日　養護教諭が実施）

・換気及び保湿等検査（年間２回　学校薬剤師が実施）
・採光及び照明検査（年間２回　学校薬剤師が実施）
・騒音検査（年間２回　学校薬剤師が実施）
・感染症対策のための消毒（共用部分を中心に毎日　日直が実施）

②給食

〇給食委員会の活動　　学期１回

「おたのしみ給食」：児童、担任、栄養士で計画

〇関係委員会

・学校給食委員会：給食に関する運営と指導についての企画及び立案　学期１回
・給食運営委員会への参加　毎月１回

③保健管理

〇児童生徒に関すること

・健康診断（内科検診、眼科検診、歯科検診、耳鼻科検診、視力聴力検査）
・健康観察（毎日実施）
・精神科校医への相談～教員が児童生徒に関することを相談（年２回実施）

〇緊急時対応

・救命救急法講習会（５月）　講師：甲府市消防本部救命救急指導員　４名
・緊急時シミュレーション訓練（７月）

〇アレルギー疾患対応

アレルギー疾患対応委員会

〇安全衛生委員会（２月）

職員の健康の保持増進、安全、衛生に関する事項の調査及び審議を行う。
参加者：校長、事務長、教頭、保健主事、養護教諭、衛生管理医、職場団体推薦者

〇学校保健委員会（２月）

学校環境衛生の整備及び学校保健に関する調査などを行う。
参加者：校長、事務長、教頭、学部主事、保健主事、養護教諭、学校医（内科医）

（３）環境防災担当

①環境整備

〇環境美化

職員清掃　毎週金曜日

②安全管理

〇安全点検

担当場所について項目に沿って点検（隔月で実施）

〇防災関係

・防災計画、危機管理マニュアルの作成・見直し
・避難訓練の実施
シェイクアウト訓練　　年間３回（６月、１１月、２月）
引き渡し訓練　　５月　想定：水害
※災害が起こった場合、児童生徒は、子ども心理治療センターうぐいすの杜に引き渡す。その際の連絡の仕方、引き渡し方について実際にうぐいすの杜職員に協力いただいて実施した。
避難訓練　　年間２回（６月、１１月）　想定：地震・火災
防災研修（職員対象）　　４月　災害時の対応、役割の確認
・非常食の管理
・甲府市伊勢地区一時避難所運営に関する協議（「災害時等における山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園の一時避難所としての利用に関する協定書」令和５年３月　甲府市と締結）

3　相談支援部

（1）相談支援担当

①センター的機能実績

○教育相談（転入学相談及び学校見学を含む）・電話相談

（のべ件数）

	幼児	小学生	中学生	高校生	関係機関	計
教育相談 学校見学	0	１０	1	0	0	１１
電話相談	0	6 （保護者２） （教員　４）	1 （保護者１） （教員　１）	0	3	１０

○追支援

転出児童生徒及び卒業生徒の支援（高校生８名、中学生３名、小学生１名）

○訪問支援

センター的機能の発揮に係る指定地域の学校から依頼（小学校３校　延べ４回）

＊指定地域：甲府市・笛吹市・甲州市・山梨市・甲斐市・中央市・昭和町

○センター的機能対象地域本校学習会　「不登校支援について」

・原教頭による講

・本校の概要説明及び教育実践の紹介　　等

②関係団体・機関との連絡調整

○市町村関係

要保護児童対策地域協議会個別ケース会議	１回

○市町村教育委員会・学校関係

転入学児童生徒に係る当該教育委員会及び前籍校との連携	９校
転出児童生徒に係る当該教育委員会及び小中学校との連携	１市１校
南アルプス市櫛形北小学校	研修支援実施
笛吹教育研究協議会	研修支援実施
押原中学区教育研究協議会	研修支援実施

○総合教育センター・県教育委員会関係

病弱専門部特別支援連携会議 （全体会・心身症等部会・慢性疾患等部会・連携推進部会）	４回
特別支援教育コーディネーター会議・資質向上研修	10 回
特別支援教育コーディネーター研修会議	２回
高等学校教育研究会教育相談部会	２回
新特別支援学級担当者研修会	１回

○プラザ内関係

子どものこころサポートプラザ連携推進会議	５回
子どものこころサポートプラザ連携チーム会議	４回
子どものこころサポートプラザ事業概要編集会議	３回
プラザ内機関連携帯同支援	４回
プラザ内学校説明会	３回
子ども心理治療センターうぐいすの杜への入所・通所検討会議	９回
申し送り（朝・昼）	平日毎日参加

4　学部担当

①授業計画・評価

準ずる教育課程で日課を作成している。一人ひとりの実態に合わせて個別の指導計画を作成し、評価規準や内容を設定して授業を行い、評価している。

②主な学部行事

〇いきいき教育地域人材活用推進事業

小学部：６月「科学実験・工作体験」　　講師　川井　康輔　氏
中学部：７月「心身のリラクゼーション」　　講師　土橋　恵　　氏
全　校：１月「テルミンの鑑賞・演奏体験」　講師　土橋　加実　氏

〇ヴァンフォーレ甲府サッカー教室（特別活動　体育的行事）

１１月：小学部３校時　中学部４校時

〇学部集会

各学部学期２回（学期初め、学期末）：学期の振り返りやレクリエーションなどを行う。

〇小学部

・水泳指導　　６月３０日（月）～９月１２日（金）　簡易プールでの指導
・林間学校（５年）　１０月１０日（金）　山梨県森林公園金川の森・キャンプ場

〇中学部

・期末試験　学期末（年間３回）
・林間学校（１、２年）　９月２６日（金）　つくたべかん、大柳川渓谷、塩の華
・修学旅行（３年）　　７月１０日（木）～１１日（金）　長野方面
・部活動　　月１～２回程度　　「写真部」「美術部」

③在籍児童生徒及び学級数　（各月１日現在）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学部	在籍者	5	6	6	6	7	8	10	12	12	12	12	12
	学級数	3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	5
中学部	在籍者	5	5	5	6	7	7	6	6	6	6	6	6
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

・令和７年度最終在籍者数（学級数）　小学部１２名（５学級）
　　中学部　６名（３学級）　　計１８名（８学級）